

様式 7

[学校部門]

河川基金助成事業

「みどり川と遊ぼうプロジェクト」 報告書

助成番号 ： 2 0 2 0 － 7 2 1 2 － 0 0 9

北海道中標津町立丸山小学校

校長 横 山 裕 充

2 0 2 0 年度

助成番号	助成事業名		学校名			
2020-7212-009	「みどり川と遊ぼう」プロジェクト		中標津町立丸山小学校			
校長名	横 山 裕 充	担当教諭名	高田大地・島谷亮生			
過去の助成実績	2019-7210-001 スタートアップ 「みどり川と遊ぼう」プロジェクト					
キーワード						
対象児童生徒	小学生（5年52名 6年41名）					
対象河川名	みどり川	活動場所の指定状況	なし			
年間学習計画(シラバス)における本助成事業の位置づけ						
テーマ	：みどり川と遊ぼう					
ねらい	：自ら対象に関わり、課題を見付け追究しようとする(5年) 自らの問題を解決するために粘り強く追究しようとする(6年)					
評価の観点	：追究する力、かかわる力、自分の生き方を考える力					
活動時期	：5月～2月					
活動形態	総合的な 学習の時間	各教科学習 (理科)	各教科学習 (社会)	各教科学習 (国語)	その他 ()	合計
上記の 活動時間数	20時間 21時間	14時間 9時間	10時間 13時間	10時間 11時間	時間	54時間(5年) 54時間(6年)
支援者等(複数記入可)						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関(博物館、資料館)等		関係団体(漁協、農協)等		企業	その他
支援概要	北海道立総合研究機構さけます・内水面水産試験場道東センター：さけます養殖等 に関する講話、みどり川における水生生物の説明 等 北海道教育大学釧路校：水辺活動の指導支援 等					
活動成果	発表形態			成果作品		
	学級単位	学年単位	学校全体			
	対外発表 ()					
安全に関する課題						
・計画段階はもちろんのこと、前日に必ず下見を行い状況の確認を行う。 ・活動当日は、担任の他に2名増員し監視の目を増やすとともに、グループを作って複数で行動するようにする。						
活動の成果と今後の課題・展開						
・川での体験活動と教科の学習を関連させて行った活動は、学習への意欲をもつきっかけとなるとともに、地域への愛着を深めていた。 ・問題解決を中心として、水温が低くなる時期まで行ったが、気にせずに調査を続けるなど、主体的に取り組む態度や学ぶことの楽しさを味わう姿が見られた。 ・今後、郷土の未来を考えることや各教科の学習を深化させる活動への展開に発展させていきたい。						
活動内容と実施時期(主な活動を2つのみ記入)						
	部門	大分類	中分類	小分類	実施時期	
データベースに登録 する活動分野	学校部門	教育活動	体験活動 系	川遊び	6～3 月	
			生物調査 系	生き物と環境	9～11 月	

アドバンス 活動報告書

(NO. 1)

1.助成事業名	「みどり川と遊ぼう」プロジェクト			学校名	中標津町立丸山小学校			助成番号	2020-7212 -009							
2.単元名	みどり川と遊ぼう															
3.目標	自ら対象に関わり課題を見つけ追究しようとする。															
4.実施学年 人数	第5学年 52名															
5.場所	みどり川、丸山公園															
6.単元構想（総時間数）																
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2					
5学年・単元目標	総合「みどり川と遊ぼう」 標津川の支流であるみどり川を探検し、中標津の自然を体感するとともによさを知る。（理科・社会・国語とも関連） 54 時間															
	社会や理科の学習と関連付けながら、学校の近くにある「みどり川」「標津川」「丸山公園の池」に興味をもち、自分自身の課題を見つけ、追究しようとする。			社会や理科の学習と関連付けながら、「みどり川の水はどこから来ているのか。」という共通課題をもち、それを追究する中で、新たな課題を見つけようとする。				自分たちが1年間課題追究して分かったことを探検マップにまとめ、次の学年に伝えようとする。								
主な学習活動	【課題を設定する】 ⑥ 春の学校周辺を散策し、みどり川・標津川・丸山公園を中心に、そこに生息する動植物を探る。		【調査活動】⑬ 理科で学習した「植物の生長」と関連させ、みどり川の自然環境について調査する。また、「魚の誕生」と関連させて、みどり川に生息するサクラマスについて調査する。社会科で学習した「あたたかい地域のくらし 寒い地域のくらし」と関連させ、気温の変化と植物の成長の変化について調査すると共に、沖縄との交流を生かして、そこに生息する動植物の違いについて調査する。		【まとめる】⑥ 調査活動の際に撮影した画像をもとにして、ipad 上で編集し、活動をまとめ、他のグループと交流する。その際、MetamojiClassRoom を使用して、リアルタイム双方向の交流学习を行う。		【課題を設定する】⑥ 夏のみどり川周辺を散策し、生き物や植物の違いや、川の流れの変化を探る。		【調査活動】⑬ 理科で学習した「台風と天気の変化」と関連させて、標津川の水が増水している様子やみどり川の水の色の変化の違いを調査する。また、「流れる水のはたらき」の学習と関連付けて、丸山公園の三日月湖とみどり川の関連性について調査する。		【まとめる】⑥ 調査活動の際に撮影した画像をもとにして、ipad 上で編集し、活動をまとめ、報告会を行う。MetamojiClassRoom を使用して、リアルタイム双方向の報告会を行う。		【課題を設定する】⑤ 今までの調査をもとに分かったことをどのように次の5年生に伝えていくかを考える。		【まとめる・発信する】⑩ 1年間調査してきたことを写真や絵、言葉を使って ipad 上でまとめる。MetamojiClassRoom を使用して、リアルタイム双方向の報告会を行う。調査結果をマップとして保存し、次年度の活動につなげる。	
	○学校周辺の散策から、疑問を見つける目をもつ。 ○自分から進んでみどり川・標津川・丸山公園の様子を探ろうとしている。		○自分の課題に向かって、見通しをもって解決しようとしている。 ○既習の内容と身近な疑問を関連付けて考え、自分なりに仮説を立てて調査している。 ○友だちの発見し共感し、写真や絵、言葉で記録を残している。		○自分の調査結果を写真と言葉を使って、相手に分かりやすくまとめている。 ○友だちの発表を聞いて、さらに自分自身の課題を見つけようとしている。		○春の調査結果から生れた新たな疑問をもとに、調査しようとしている。 ○実際に探索しながら春には気づかなかったことに疑問をもっている。		○自分の課題に向かって、見通しをもって解決しようとしている。 ○既習の内容と身近な疑問を関連付けて考え、自分なりに仮説を立てて調査している。 ○友だちの発見し共感し、写真や絵、言葉で記録を残している。		○自分の調査結果を写真と言葉を使って、相手に分かりやすくまとめている。 ○友だちの発表を聞いて、さらに自分自身の課題を見つけようとしている。		○相手意識をもった発表とは何かを考え、それをもとにまとめている。		○相手により分かりやすく伝えるように、今までの資料を基に効果的に発表することができる。	
評価項目																

※申請時に作成したものを基にした実施計画を記載

アドバンス 活動報告書

(NO. 1)

1.助成事業名	「みどり川と遊ぼう」プロジェクト			学校名	中標津町立丸山小学校			助成番号	2020-7212 -009							
2.単元名	みどり川と遊ぼう															
3.目標	自ら対象に関わり課題を見つけ追究しようとする。															
4.実施学年 人数	第6学年 41名															
5.場所	みどり川、丸山公園															
6.単元構想（総時間数）																
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2					
6 学 年 ・ 単 元 目 標	総合「みどり川と遊ぼう」 他の地域の川や昔のみどり川とくらべ、現在の川を守り続けていこうという思いをもつ。（行事・理科・社会・国語とも関連） 54時間															
	北海道独自の歴史を知り、祖先にとっての川の意味を知る。 植物の体のつくりと働きについての理解を図り、生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする。 生物と環境について観察を行い、得られた結果を基に考察し、それを発表する。			今まで調べてきたことをもとに、他町にある川や地形などに興味をもち、それぞれを比較しながら中標津町の自然を見つめ直そうとする。			自分たちが1年間課題追究して分かったことを探検マップや報告文にまとめ、分かりやすく伝えようとする。									
主 な 学 習 活 動	【課題を設定する】⑦ みどり川の様子について昨年度と比較しながら課題を見つける。 アイヌの人々の暮らしと文化の学習から北海道独自の歴史を知り、それと関連付けてみどり川の歴史を探る。		【調査活動】⑮ みどり川のフィールドワークを行う。 その中で、水辺の身近な植物についての様子や体の働きについて、理科の学習と関連させながら考察する。 アイヌの人々の暮らしと文化を知り、中標津町の歴史の調査をしたり、みどり川の歴史を探る。		【まとめる】⑥ 調査活動の際に撮影した画像をもとにして、ipad上で編集し、活動をまとめ、他のグループと交流する。その際、MetamojiClassRoomを使用して、リアルタイム双方向の交流学习を行う。		【課題を設定する】⑦ 今まで学習してきたことを基に、他の川と比較しながら考察する計画を立てる。		【調査活動】⑮ アイヌの人々との暮らしに関わりがある他町の川について調査し、自分たちの身近にあるみどり川・標津川と比較しながら、考察する。 地層の学習を生かしてみどり川周辺を調査し、地層の石などの構成物の違いを見つける。		【まとめる】⑥ 調査活動の際に撮影した画像をもとにして、ipad上で編集し、活動をまとめ、報告会を行う。 MetamojiClassRoomを使用して、リアルタイム双方向の報告会を行う。		【課題を設定する】⑥ 今までの調査をもとに分かったことを分かりやすく伝えるためにどのような方法があるかを考える。		【まとめる・発信する】⑫ 豊かな自然にあふれる中標津のみどり川を今後も守り続けていくために、どんなことをしたら良いか考え、説得力のある文章にまとめ発表する。 MetamojiClassRoomを使用して、リアルタイム双方向の報告会を行う。 調査結果をマップとして保存する。	
	○自分から進んでみどり川・標津川・丸山公園の様子を探ろうとしている。		○自分の課題に向かって、見通しをもって解決しようとしている。 ○既習の内容と身近な疑問を関連付けて考え、自分なりに仮説を立てて調査している。 ○友だちの発見し共感し、写真や絵、言葉で記録を残している。 ○歴史や他の川と比べながら、みどり川の素晴らしさに気づき、大切にしようとしている。		○自分の調査結果を写真と言葉を使って、相手に分かりやすくまとめている。 ○友だちの発表を聞いて、さらに自分自身の課題を見つけようとしている。		○他町の川と比較して見えた新たな疑問をもち、調査しようとしている。		○自分の課題に向かって、見通しをもって解決しようとしている。 ○他町の川とみどり川の比較で見えた疑問に対し、自分なりに仮説を立てて調査している。 ○友だちの発見し共感し、写真や絵、言葉で記録を残している。		○自分の調査結果を写真と言葉を使って、相手に分かりやすくまとめている。 ○友だちの発表を聞いて、さらに自分自身の課題を見つけようとしている。		○今まで調べてきたことをもとに、どのようにまとめていくかを見通しをもっている。		○説得力のある文章にするために、文章構成や添付資料などを効果的に用いながらまとめている。 ○まとめの活動をしながらかみどり川の素晴らしさに気づき、大切にしようとしている。 ○中標津の豊かな自然に気づき、その自然を守るためにできることを当事者として考えようとしている。	
評 価 項 目																

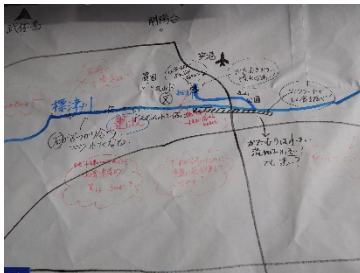
※申請時に作成したものを基にした実施計画を記載

アドバンス 活動報告書

(NO. 2)

1.助成事業名	「みどり川と遊ぼう」プロジェクト	学校名	中標津町立丸山小学校	助成番号	2020-7212- 009
---------	------------------	-----	------------	------	----------------

7.実際に行った単元構成

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2					
5 学 年	総合「みどり川と遊ぼう」 標津川の支流であるみどり川を探検し、中標津の自然を体感するとともによさを知る。 (理科・社会・国語とも関連) 54時間															
	「中標津町といえば…」テーマに、学校周辺を探索し、自然環境や町のつくりなどを調査した。その上で、中標津町を流れている標津川や学校近くの丸山公園の三日月湖、みどり川に焦点を当て、自分が追究してみたいことを決め、他教科と関連させながら考察していく活動を行った。					夏休み前の活動から生れたあらたな疑問「みどり川の水は、どこから来ているんだろう。」という疑問を追究するために、みどり川・標津川・丸山公園の池についてフィールドワークを行った。					この1年調査してきたみどり川のフィールドワークから、気づいたこと分かった事をまとめる活動を行った。					
	【課題を設定する】④ ○春の学校周辺を散策し、みどり川・標津川・丸山公園を中心に、そこに生息する動植物を探った。その中で、自分が追究したい事を決定した。 ○自分が追究したいことを決めたあたりで、新型コロナウイルス感染拡大防止のために休校となってしまったが、学校再開後の学習につなげるため、「Metamoji Class Room」を活用し、サクラマスについて調べてみたいと思えるような取組を行った。			【調査活動】⑮ ○学校が再開してから、改めて学校周辺の散策を行った。理科の学習や社会の学習と関連させながら、自分の足で歩き調査しながら、それを「探検マップ」にまとめていった。 ○中標津町に生息している動植物と もっと温かい地域である沖縄とではどのような違いがあるのか疑問に思った児童の考えを学級全体に広げ、沖縄とリモート交流を行った。その後、沖縄の動植物の写真や海岸の砂などを学校に送ってもらい、本物を手にして、見比べることができた。			【まとめる】⑥ ○調査結果を基に、自分たちが分かった事を教室の後ろの大きな模造紙に「探検マップ」としてまとめた。この「探検マップ」は、1年間掲示し、随時更新していくこととした。		【課題を設定する】④ ○春と比べて、みどり川の様子がどのように変化しているかを調べるために、川へ出かけた。 ○それぞれが違いを見つけ、その原因を理科や社会と関連付けて考える中、1人の児童が、「みどり川の水はどこから来ているんだろう。」と疑問をもった。それを全体に広げ、さらに調査活動が始まった。		【調査活動】⑬ ○調べていく中で、昨年からみどり川の学習をしている6年生に聞いてみようということになり、6年生に話を聞きに行き、一緒に探索活動を行った。 ○その後、さらに自分たちだけでみどり川の川沿いを上っていき、途中で「さけ・ます内水面水産試験場」を見つけ、中の施設見学やお話をいくことができた。 ○また、みどり川での調査を生かして、自分の家の近くの川も調べ、Metamoji Class Room に写真をアップし、学級で交流を行った。		【まとめる】④ ○調査を基に、自分たちが分かった事をそれぞれの方法でまとめた。 ○それぞれの調査結果が分かるようにMetamoji Class Roomを活用すると共に、「探検マップ」にも整理した。		【まとめる・発表する】⑧ ○1年間調査してきて分かった事をipad上でまとめ、交流会を行った。 ○分かりやすく伝えるために、国語で学習したことを生かし、資料として今まで撮りためてきた写真を活用しながらまとめていった。 ○1年間取り組んだ「探検マップ」は、次年度の引継ぎ、次年度の学習で新たに分かった事を記入していくこととした	
																

8.成果と課題

- 子どもたちは学校周辺を探索することを通して、身近に「みどり川」が存在することを知り、そこに生息する動植物について調べて行くことで、中標津町の豊かな自然について理解を深めることができた。
- 活動を行いながら、子ども自ら課題をもち追究する姿が見られた。
- 解決した個々の課題を全体交流で、より発展的な課題へと広げていくための工夫が必要である。

アドバンス 活動報告書

(NO. 2)

1.助成事業名		学校名				助成番号		2020-7212- 009							
7.実際に行った単元構成															
月	4	5	6	7	8	9	1 0	1 1	1 2	1	2				
6 学 年	総合「みどり川と遊ぼう」 他の地域の川や昔のみどり川とくらべ、現在の川を守り続けていこうという思いをもつ。 （行事・理科・社会・国語とも関連） 5 4時間														
	昨年度学習したことを基に、社会や理科と関連付けながら、みどり川周辺の歴史を調査し、分かった事をまとめる活動を行った。			夏休み前に学習したことを基に、さらにみどり川の調査を進め、秋に行く修学旅行先の白滝の川と比較してまとめる活動を行った。			調査をしながら、みどり川周辺にゴミがたくさん落ちていることに気づき、それを拾ってキレイにする活動を行った。								
【課題を設定する】 ④ ○昨年度探検したみどり川を思い出し、春のみどり川を探検し、違いを見つけた。 ○社会科の学習で取り組んだアイヌの人たちの暮らしと文化の学習をもとに、みどり川の歴史を探ることとした。 ○アイヌの人たちが黒曜石を使って交易していたことを知り、みどり川にもないか調べることにした。		【調査活動】⑫ ○自分が追究したいことを決めたあたりで、新型コロナウイルス感染拡大防止のために休校となってしまったので、再開後再びみどり川へ調査に行った。 ○標津町にある「ポー川史跡自然公園」を見学し、アイヌの人たちの暮らしや文化を知ることができた。集落の近くには必ず川があることを知り、みどり川周辺の地形などにも注目しながら調査活動を行った。		【まとめる】⑤ ○標津町のポー川と中標津町のみどり川を比較し、相違点をまとめ、ipad上で整理し、Metamoji Class Roomを使って交流した。		【課題を設定する】 ⑤ ○ポー川とみどり川を比較して分かった事を基に、さらにみどり川の探検を行い、修学旅行先の白滝とも比較できるように課題を設定した。 ○「大地のつくり」で学習したことを生かして、みどり川の地質調査を行った。 ○5年生からの依頼を受け、みどり川について5年生に説明することになった。分かりやすい説明の仕方を考えた。		【調査活動】⑬ ○ポー川・みどり川・白滝の川を比較し、歴史・地形・地層などに着目しながら調査を行った。これらを調査することで、みどり川の素晴らしさに気づいていた。 ○個々の課題解決のため、調査を行った。生き物や植物、地層、水質など多岐にわたり調査を行った。 ○5年生からの依頼を受け、みどり川の事について分かりやすく説明できるように準備をした。		【まとめる】 ⑥ ○三つの川を比較し、分かった事や他教科と関連させて考察したことをipad上でまとめ、Metamoji Class Room路使って交流した。 ○みどり川については、廊下壁面に大きな模造紙を貼り、調査結果を記入し「探検マップ」としてまとめた。		【課題を設定する・行動する】⑥ ○みどり川を探検しているときに、ゴミがたくさん落ちていることに気づき、それを拾ってキレイにできないか考えた子どもたちを意見を学年全体に広げ、活動することになった。 ○拾ったゴミを見て、多くのゴミを捨てることが自然を汚すことにつながると気づき、ゴミ捨てをしないように学校で呼びかけたいという思いをもち、ポスター作りをした。		【まとめる】③ ○2年間学習したことを基に、みどり川を今後も守っていくためにできることを考え、写真などの資料を使って説得力のあるプレゼンを行った。	

8.成果と課題

○2年間みどり川を探索し、そこに生息する動植物を調べる中で、中標津町に豊かな自然があることに改めて気づき、それを大切にしようという思いをもつことができた。

●3つの川を比較する活動では、視点を明確にすることで、みどり川についてより深い考察ができるものと考えた。

様式 1 3

[学校部門] 共通

[活動写真]

助成番号	助成事業名	学校名・学校長名
2020-7212-009	「みどり川と遊ぼう」プロジェクト ＜6年＞	中標津町立丸山小学校 横 山 裕 充



フィールド：

「実施箇所」の辺り

日 付：

2020. 4.

コメント：

春のみどり川を探検し、
昨年度との違いを見付け
た。



フィールド：「実施箇所」の辺り

日 付：2020. 6. 24

コメント：学校再開後、やっと自分がきめた追究し
たいことを調べる活動を始めることができた。



フィールド：「実施箇所」の辺り

日 付：2020. 8. 25

コメント：社会科の学習で、「アイヌの人たちの暮らしや文化」の後行ったポー川とみどり川を比較する活動
が加わり、みどり川の調査に深まりが出てきた。

様式 1 3

[学校部門] 共通

[活動写真]

助成番号	助成事業名	学校名・学校長名
202-7212-009	「みどり川と遊ぼう」プロジェクト ＜ 6 年 ＞	中標津町立丸山小学校 横 山 裕 充



フィールド：「実施箇所」の辺り

日 付：2020. 10. 28

コメント：ポー川、修学旅行で行った白滝の湧別川とみどり川を比較し、地形や地層などにも関心を持ち調べ始めた。



フィールド：「実施箇所」の辺り

日 付：2020. 11. 26

コメント：多岐に渡った課題の中で、みどり川の各流域の水質に興味をもって調査を行った。



フィールド：「実施箇所」の辺り

日 付：2020. 12. 1

コメント：みどり川の流域にゴミがたくさん落ちていることに気付き、ゴミ拾いを開始、ゴミを捨てない取組へと発展した。

様式 1 3

[学校部門] 共通

[活動写真]

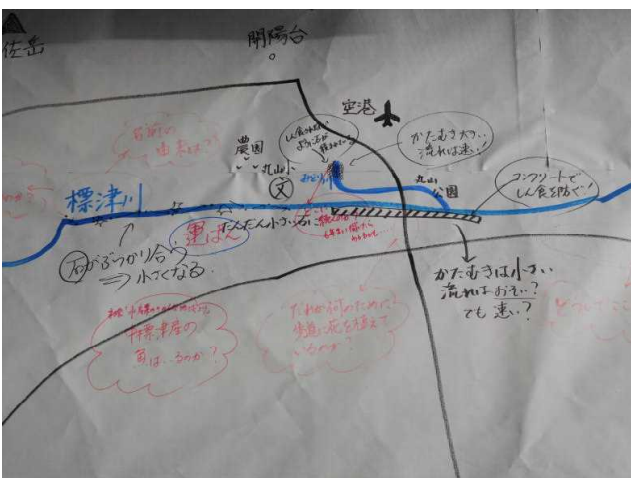
助成番号	助成事業名	学校名・学校長名
202-7212-009	「みどり川と遊ぼう」プロジェクト ＜5年＞	中標津町立丸山小学校 横 山 裕 充



フィールド：「実施箇所」の辺り

日 付：2020. 4. 17

コメント：標津川にシロザケハ遡上しているのに、みどり川にサクラマス（ヤマメ）はいるが、シロザケはいないのはどうしてか。



コメント：探検マップにまとめ、背面黒板に掲示したものに、1年間継続的に調査したものや気が付いたことを記入していく。

様式 1 3

[学校部門] 共通

[活動写真]

助成番号	助成事業名	学校名・学校長名
202-7212-009	「みどり川と遊ぼう」プロジェクト ＜5年＞	中標津町立丸山小学校 横 山 裕 充



フィールド：「実施箇所」の辺り

日 付：2020. 10. 14

コメント：6年生に話を聞き一緒に探索活動をするために打ち合わせを行った。



フィールド：さけ・ます内水面水産試験場

日 付：2020. 10. 26

コメント：みどり川の上流にさけ・ます内水面水産試験場があることを知り、そこでどのような活動をしているのかを調べる。



フィールド：みどり川の上流

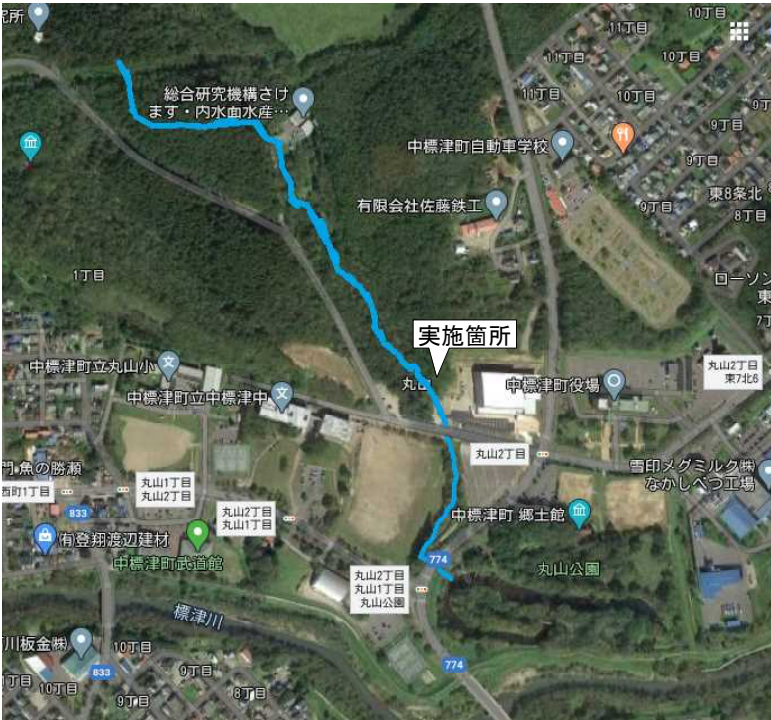
日 付：2020. 11. 26

コメント：自分たちでみどり川の上流域を調べるとともに、自分の家の近くの川を調べ、Metamoji Classroomに写真をアップし学級で交流するなど、活動が広がった。

様式 14

〔学校部門〕

〔実施箇所位置図〕

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2020-7212-009	「みどり川と遊ぼう」プロジェクト	中標津町立丸山小学校 横 山 裕 充
助成事業の主な実施箇所	主な実施箇所 みどり川	
		＜活動場所全景＞ みどり川（体育館横） ↓ 三日月湖（丸山公園） ↓ 標津川 ＜主な活動場所拡大＞ みどり川 （主な活動場所） 